計画の 目的 人口減少・超高齢社会に対応するため、**地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿**を明らかにするとともに、**今後5年間で 取り組むべき施策(主にソフト施策)を示し、将来都市像である「ネットワーク型コンパクトシティ」を実現**するもの。

計画の 考え方

基本目標

Ι

基本目標

Π

基本目標

- 過度な自動車依存から脱却し、全ての人に優しい都市の実現に向け、本計画で は、その第一歩として「意外と便利な公共交通の認知・構築」から着手。
- **2** 100年に一度のモビリティ革命といわれる**社会変革に対応した取り組み**を進める。

全ての人に優しい都市の実現

過度な自動車依存の低減

意外と便利な公共交通 の認知・構築

★将来都市像〈第二次都市計画マスタープラン〉

ネットワーク型コンパクトシティIwaki

★都市交通の基本目標〈第二次都市交通マスタープラン〉

まちづくりと連携した交通体系の構築によるネットワーク型コンパクトシティIwakiの実現

★地域公共交通計画 (案) 主な施策について記載

■選ばれる公共交通の構築

▶ 将来の公共交通ネットワークを見据え、路線の再編や運賃・ダイヤの最適化等を図る。

▶ 鉄道、バス、タクシー等の利用促進に努め利用しやすい(意外と便利)な公共交通の構築を図る。

PJ-1公共交通最適化・利便性増進等プロジュ外

路線バスの最適化

時刻		分						
9	00	10	20		35			
10	00		20			40		50
11				30			45	
12	00	5	20		35			50
13		5		30		40		
14	00		20	30				50

時刻	15分	間隔	分	
9	(00)	(15)	30	45
10	00	15	30	45
11	00	15	30	45
12	00	15	30	45
13	00	15	30	45
14	00	15	30	45



経由先の統一の例

PJ-2公共交通利用転換プロデュ外

主にまちなか居住区域内と拠点間を対象

エコ通勤の促進



官民が連携した通勤手段の多様化

富岡 方面 広域拠点 地区拠点 地域内交通 地域生活拠点

《公共交通ネットワーク方針》

■セーフティネットとなる公共交通の確保

運行ダイヤの平準化の例

- ▶ 主体となる地域住民と交通事業者、行政との協働により、地 域のニーズに沿った地域公共交通(コミュニティ交通)の検 討・導入を進める。
- ▶ 他の移動サービスとの連携も含めた検討により、生活の基礎 を支える持続ある交通手段の構築を目指す。

PJ-3 公共交通セーフティーネット構築プロジット

多様なニーズに対応したタクシー等の活用









鉄道・路線バスの維持,物流の効率化

主に公共交通不便地域等を対象

既存交通を活用した貨客混載

■新技術等を活用した移動手段のサポート

- ▶ 都市交通サービス全体の利便性を高めるMaaSの構築や新た な移動手段の確保により、地域住民、来訪者への移動手段を サポートする。
- ▶ 非接触型決済システムや路線検索が可能となるバスロケー ションシステムの導入など、公共交通のDX(デジタルトラ ンスフォーメーション)化を推進し、公共交通利用者の利便 性の向上を図る。

PJ-4新技術を活用した利便増進プロデュ外

いわき版MaaSの構築

住民主体

法人企業

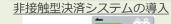


スマートモビリティの導入促進



新しい移動サービスの構築

PJ-5交通利便性向上プロデェクト





交诵データの集積・解析

バスロケーションシステムの導入



都市圏全体を対象

路線検索・リアルタイム運行状況 の把握

検索・予約・決済等の一括化